



広報

No.253

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成5年1月末現在)

世帯数	8,211戸
人口	26,885人
男	13,735人
女	13,150人

1月の人口移動

出及	25件	死亡	12件
転入	88件	転出	79件
婚姻	11件	離婚	2件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷



はっぴょうかい たけなわ

第15回町立西原保育所(添盛初子所長)はっぴょうかいが2月6日午前、町社会福祉センターで行われ、父母や祖父母らでにぎわいました。

全園児(60人)が劇あそびや絵話、リズム、わらべうたなどに元気いっぱいやりとげました。すべてにおいて発達が著しいこの時期、何を演技するにも微笑ましいもの。父母らは我が子の出番になると記録に残そうとビデオやカメラを撮っていました。

また、1月30日町立坂田保育所のはっぴょうかいも終わりました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

成果を確認し継続発展を

学推協が実践研究発表

「豊かな感情と確かな学力を形成するには、地域ぐるみの活動をどのようにすすめるか」をテーマに、町学推協実践研究発表会（町地域ぐるみ基礎学力向上推進協議会、町教育委員会主催）が二月六日西原東小学校で開かれました。



それぞれの部会から発表が行われた

今発表会は八年

次を締めくくるもので、学校部会や地域部会が推進役となり、計画的に取り組みましたもの。特に地域部活では、行政区改編に伴う新支部結成を図るため地域懇談会が実施されました。体育館で行われた全体発表会では、関係者約二百人が参加する中、井口善博校長（学校部会長）が開会のあいさつ。次に與那

嶺浩町学推協会会長が「学校、家庭、地域社会、行政並びに全組織が一丸となって実践研究を進め、一定の成果をあげてきた」と述べました。

その後、宮里憲幸学推協事務局長が実践研究の経過を報告。引き続き幼稚園、小・中学校さらに地域部会での取り組みが紹介され、一年間の活動状況が報告されました。

また、平安町長は祝辞の中で「家庭、学校、地域社会が

それぞれの立場において、その果たすべき役割と責任を明確にし、相互の連携と協力が何よりも必要」と激励しました。

なお、研究発表者は次の通り。（敬称略）

▽学校部会・新里伸子（坂田幼稚園教諭）、蔵盛初枝（西原小学校教諭）、山里朗（西原中学校教諭）、▽地域部会・新里勝弘（小那覇支部長）、西原栄市（翁長支部長）、▽野島英

「起きてからでは遅い」

町青少協が臨時役員会



平安会長は事前の取り組みの必要性を話した

多発する青少年の非行問題について情報交換しよう」と町青少年健全育成協議会（平

安恒政会長）は一月三十日午前、臨時役員会を開きました。役員会に先立ちあいさつし

秀（教育相談員）



参加者は研究発表を熱心に聞き入っていた

た平安会長は「最近、青少年の事件・事故が多発し憂慮にたえない。意識調査を見ると子どもものしつに親として自信があるのは十四％にすぎない。町としても事前の取り組みが必要である」と述べました。

その後、浦添警察署による青少年非行の概況説明や町教育相談員から事例説明があり、役員約四十人が情報交換をしました。

その結果、①町民に関心を促すためにチラシを配布する②各学校単位PTAごとに話し合うなどが確認されました。

友愛の輪をいつまでも

町老連が20周年祝う

町老人クラブ連合会(呉屋安信会長)は創立二十周年記念式典を一月二十七日午後、町中央公民館で開催し、参加者約四百人が二十年の歴史を祝いました。

記念式典では、比嘉茂子町老連副会長の開式のことばに始まり、全国老人クラブ歌を全員が斉唱した後、呉屋会長が式辞を述べました。その後個人二十五人、七団体に対し表彰状並びに感謝状が手渡されました。

創立20周年記念式典・祝賀会



呉屋会長から表彰状及び感謝状が手渡された

あいさつの中で呉屋会長は「若い会員が入会し易い環境づくりと若いリーダーの育成を図りながら、会員増並びに友愛訪問や奉仕活動を強化したい」と述べました。

また、平安町長は祝辞の中で「永年培われた貴重な経験と豊富な知識をなお一層町政発展にご指導ご協力を賜り

たい」と述べました。

なお、表彰状並びに感謝状受賞者は次の通り。(敬称略)
▽特別功労・玉那覇馨、呉屋幸夫、金城澄、宮平清子、喜納千代、安座間喜盛、安谷屋昌夫、小橋川要好、城間源市、大城花宵、小波津カメ子、新川千代子、平安恒政、呉屋厚雄、町社会福祉協議会▽役員

功労・知念栄吉、上地幸子、稲福カメ、松川トク▽優良老人クラブ・池田老人クラブ、与那城老人クラブ、我謝老人クラブ、津花波老人クラブ、掛保久老人クラブ、小波津団地老人クラブ▽高額寄付・与那嶺ナへ、仲宗根仁王・カメ、金城澄、澤岨ヨシ、野原廣和、安座間喜止、佐久川松枝

交通網の整備など意見続出

ニューリーダーらが懇談会

町商工業青年部地域活性化懇談会が一月二十二日午後、西原共同福祉施設で行われ、町商工会青年部及びOB、島尻JC会員町出身及びOB、町商工会三役や役場関係者ら約五十人が懇親を深めました。これは、新しい感覚と若い情熱で活躍するニューリーダーの意見提言等をいただき、豊かで活力ある町づくりに生かそうというもの。

主催者を代表しての平安町

長は、あいさつの中で「地域の団体がもっとよい町にするために共に考え、今後の目標やテーマ、課題を一緒につかもう」と述べました。

その後、町商工会青年部長の宇江城昌實さんと同事務局長の糸数昌也さんがそれぞれ視察研修報告を行い、意見交換に移りました。

意見交換では、参加者がフリートキングを行い、①まちづくりは交通網の整備から

②商店街には駐車場が必要不可欠である③町開発指導要綱の周知徹底を図る④町商工業地域活性化協議会(仮称)の設置など貴重な意見・要望などが出されました。



ニューリーダーらが参加し地域活性化への意欲を見せた



不発弾処理に約2千人が避難

昨年11月15日に「宜野湾～西原線」道路改良工事現場(字内間)で発見された不発弾(米国製50kg爆弾)が、2月9日に処理されました。

その日、半径600mの円内に位置する上原・西原台地・小橋川・内間団地、他14施設の計1992人が避難対象となりました。

現場では、陸上自衛隊不発弾処理隊らが午前9時から信管を抜く準備に入り、午前10時から処理作業が開始。約25分で終了し、避難が解除されました。



好評の「琉歌碑めぐり」

「なつかしや沖縄 戦場になとい世間お万人と 涙ながち」＝捕虜収容所の哀歌・屋嘉節の碑などを尋ねて、町教育委員会主催「琉歌碑めぐり」が1月31日に行われ、参加者約30人が琉歌碑にふれ、改めて琉球文化の偉大さにふれました。

今回の対象者は町文化協会琉舞部。見学地は特牛節の碑や恩納ナベ琉歌碑など8か所。山内昌重先生(県社会教育派遣指導主事)の講話と二人の三味線地謡により情緒豊かな雰囲気になりました。



元気がよくがんばった学芸会

「演技は大きく、いきいき笑顔でがんばろう」をテーマに、西原南小学校(宮城義昇校長)では、2月7日午前、同校体育館で学芸会が行われ、開校後初めての開催とあって会場は教育関係者や父母らでにぎわいました。

全校生徒429人が学年ごとにダンス、合唱、劇、合奏などを披露し父母らが盛んな拍手を送っていました。

また、1月24日西原東小学校(井口善博校長)でも学芸会が行われました。



西原町支部を結成

'93おきなわマラソン大会が3月7日午前8時、沖縄県総合運動公園をスタート・ゴールに開催されるため、西原町支部結成大会が2月9日午後、役場会議室で行われ関係者約25人が出席しました。

これは、「中部は1つ」を合言葉に中部圏域12市町村が一丸となり産業人材育成などの地域活性化の促進、長距離スポーツの普及・競技力向上を図ることが目的。42.195kmを約8千人のランナーが挑戦。マラソン大会当日は、婦人会や町体育指導員、子ども会ら約85人がボランティアで協力する予定。

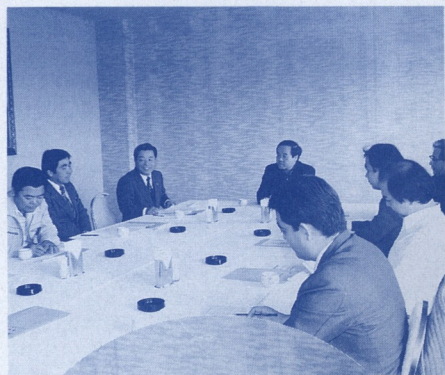


盛大に四氏の受賞・就任祝う

玉城政光氏(全国社会教育委員功労賞)、宮里憲幸氏(第15回琉球新報教育活動賞)、新川雅曜氏(日本PTA全国協議会功労賞、大宜見義夫氏(県教育委員に就任)の四氏激励会が2月12日午後、町中央公民館で行われにぎわいました。

参加者は教育関係者及び町民約200人。主催者あいさつに立った平安町長は、四氏の功績を讃えた後「四氏の受賞及び就任は、文教のまちとして力強いことであり、後輩の刺激になる」と激励。館内からは「おめでとうございます」の声が沸き上がりました。

これに対し、玉城氏は「宇宙はすべて偶然に支配されている。私が意図的に何かをしたのではなくほとんど周囲がつくった偶然である。同じように私が賞をもらえるのも周囲がつくったものであり、チャンスを与えたのは皆さんである」大宜見氏は「教育を学校以外から考えていきたい」新川氏は「功労賞は全会員に与えられたものである」宮里氏は「バレエといえば西原、西原といえばバレエといわれるようになった。今後子どもたちのために頑張りたい」とそれぞれ喜びと抱負を述べました。



“なくそう予防接種の健康被害”

西原町の予防接種による健康被害の適切かつ円滑な処理を図ろうと、町予防接種健康被害調査委員会委員の委嘱状交付式が、1月20日午後、都パレスで行われました。

同委員会は平成2年に設置され、2年の任期満了によるもの。あいさつの中で平安町長は「本町では予防接種に起因する事故はないが、町民の健康を守るため今後ともご協力をお願いします」と述べました。

なお、委員は次の通り。(敬称略)▷会長・桑江朝彦(中部地区医師会長)▷副会長・太宜見義夫(町予防接種担当医)▷委員・伊元幸信(中部地区医師会理事)、太田計(町予防接種担当医)、平田久夫(南部保健所長)、島袋直哉(沖縄県立南部病院小児科医長)、小川良夫(町助役)



進路は中学の時に決めよう

西原中学校(喜納徳次校長)2年生(192人)が2月12日午後、同校体育館で職業調査報告会を行いました。

各クラス男女代表生徒らが銀行員、小学校教員、美容師、調理師などを調査。直接職場へ行き聞き取りしたことを報告しました。中卒後のコースや仕事内容、やりがい、必要な資格・免許などをスライドを使って説明。生徒らは熱心にメモをとっていました。職場調査の中で「中学の時に目標をしっかりと決めてすすんで下さい」とのアドバイスも。



学級給食は教育の一つ

全国学校給食週間(1月24日から1月30日まで)にちなみ西原南小学校(宮城義昇校長)では1月25日、学校給食試食会が行われました。

各教室で児童ら(429人)と一緒に給食を試食したのは、平安町長をはじめ町教育委員会関係者や南小PTA役員。試食後、懇談会の中であいさつをした平安町長は「学校給食は、食事におけるマナーの指導等も含め教育の一環である。家庭でも給食の話をしてほしい」と述べました。



思いやりと優しい心を永遠に

西原南小学校(宮城義昇校長)では、昨年11月20日の「人権の花」植え付け以来、子どもたちが一生懸命育てた人権の花が満開。1月21日午後、同校内で人権の花運動終了式が行われました。

ペゴニヤやペチュニア・インパチェンスなど植え付けた4種類の花すべてが見事に咲き、校内が明るくなりました。

宮城校長はあいさつの中で「花を育てることによってやさしい気持ちや親切で思いやりの気持ちが分ったでしょう。これから人権を大切にしていこう」と述べました。



区民総出で清掃作業

小波津団地自治会(山入端立美会長)が1月24日、午前9時から同自治会事務所を中心に区民総出で清掃作業を行いました。

子ども会は花の苗(ペチュニアやくじやく草など)をプランター(120こ)に植え付け、婦人会は事務所内の清掃や古紙回収、男性は旧倉庫のとり壊しや草刈り、年寄りらは草刈り作業をするなど約100人が精を出していました。

山入端会長は「花いっぱい運動を展開しているが、事務所の周辺やコーナーなど、いたる所に花が咲くようになった」と話しました。

基本計画の見直しを図る



委員9人に対し、平安町長から委嘱状が手渡された

西原運動公園基本計画策定検討委員会委員の委嘱状交付式が一月二十一日午後、議会委員会室で行われ委員九人に対し、平安町長から委嘱状が手渡されました。

これは、昭和五十六年三月に策定された同基本計画を見直すためのもの。あいさつの中で平安町長は「当初策定から十年を経過した今、町民の要望も変って来たため、見直

しが必要になった。委員のご協力を願いたい」と述べ、同計画案の諮問が行われました。なお、委員は次の通り。(敬称略)

▽学識経験者・外間現誠(会長)

平良一男(副会長)、大城進一

▽関係団体・平敷静男、城間期

一▽町議会議員・伊礼一美、親

泊輝延▽行政機関・小川良夫、

上間明

(任期は平成五年三月三十一日まで)

シリーズ

がんばってます

20

開校以来負けなし

中学校バレーボール地区大会、県大会、九州大会すべての優勝回数なんと三十回。中でも九州大会では六回も優勝するなど、今や県内だけでなく全国でも名声を高めている西原東中学校。昭和六十三年開校以来、県内大会に負けなしの成績には驚くばかりです。

今回は、その西原東中学校男子バレーボールを指導する山田政和さん(教諭・三十才)を紹介しします。

山田監督が開校と同時に男子バレーボールを指導して五年。練習時間は午後五時から七時ごろまで。同校体育館では部員十五人の練習に、簡単なブレイに手抜きをした時など、監督のげきが飛びます。



どんな大会でも子どもたちの礼儀作法には定評がある(円内が山田政和監督)

監督自らが中・高・大学時代バレーボール競技を経験し、現在も週二回の練習を生かし現役選手として活躍している山田監督は「一生懸命集中して、取り組むという基本的な姿勢を大事にしている。また、勝っても拍手がもらえないチームにはしたくない」と情熱を込めて話していました。

子どもたちの礼儀作法や生活態度については「あたりまえのこと」として日ごろから徹底しているため毎日の練習の中でも表れています。一つの練習が終わると無言の中にもさっと監督の所へ集まったり、子どもたちのきびきびした態度には監督の信念が伺えます。子どもたちからは「厳しい先生」との声も。

今後の目標は「とにかく一つでも多く勝ちたい」と厳しい目

の中にも意欲を見せていました。

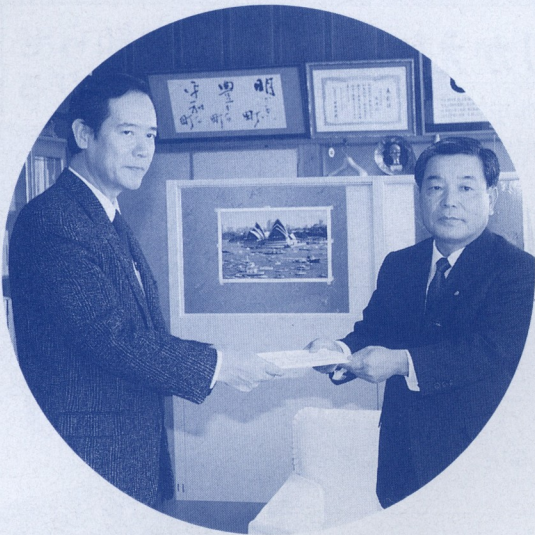
平成5年度 町県民税の申告は 3月15日までに!

多目的スペースを備えた庁舎を

平成十一年竣工を目標に

町庁舎建設検討委員会が答申

町庁舎建設検討委員会（池田孝之委員長）は、町庁舎建設基本構想を策定するため審議検討を重ねてきましたが、その基本構想がこのほどまとまり、二月十五日午後、町長室で平安恒政町長に対しその答申を行いました。



池田孝之委員長から平安町長に対し答申が行われた

同検討委員会は、平成三年十月二十八日、町長から基本構想の策定について諮問され、今年二月一日までに六回の会議を開催。委員十八名が①町のシンボル②利便性の確保③コミュニケーション機能④行政機能の柔軟性の確

保⑤高齢者等への対応⑥議事堂⑦省エネルギー対策⑧維持管理・保安対策⑨職員等への配慮などを基本方針として掲げ、庁舎建設の具体的な時期、規模、位置、資金計画などを審議・検討しました。

答申の内容について説明した後、池田孝之委員長（琉球大学教授）は「行政だけでなく住民との十分なコンセンサ

スを図り、事業内容をより具体的に推進するため今後は①町庁舎建設基本計画策定委員会と②町庁舎建設推進委員会などを置くことが望ましい」と述べました。

これに対し、平安町長は「本町の大きな課題であった庁舎建設基本構想の答申が出た。今後は、答申を尊重して基本計画を策定し時期にまにあわせて建設したい」と述べました。

なお、同構想の要旨は次の通り。

一、庁舎建設の時期
平成九年着工、平成十

一年竣工を目標に計画。

一、庁舎建設規模

庁舎面積は、職員数、

議会関係諸室、多目的ス

ペース等を基本に人口規

模五万人程度の他市町村

庁舎面積も考慮して八千

平方メートルとする。

一、庁舎建設の位置

敷地拡張を前提に現在

地が望ましい。

一、資金計画

平成十一年竣工を睨んで

毎年度確実な額を積み

立てる必要がある。

教育・文化講演会

入場無料

栄光に近道なし

『マウンドの闘いは人生のそれに似て』

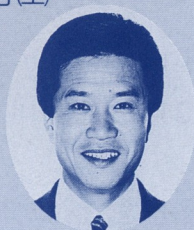
講師：山田久志先生

(NHKスポーツキャスター)

日時：平成5年3月13日(土)

午後2時～

場所：西原町民体育館



山田久志先生

※お問い合わせは西原町教育委員会へ

連絡先 945-3655

平成5年度 国民健康保険者証(手帳)のきりかえについて

あなたが、現在持っている国民健康保険手帳は、3月31日までしか使用できません。4月からは、新しい保険手帳でないと受診できませんので、次のとおり新しい保険手帳に切り替え致します。

【切り替え日程】

記

場 所：西原町役場 国民健康保険課窓口(5番)

時 間：午前9時から午後4時まで

持参するもの

1. 現在使っている国民健康保険手帳
2. 印鑑
3. 在学(園)証明書(学)の手帳を持っている世帯)

注意事項

1. 保険税未納の方は、あわせて納めて下さい。(平成4年度分まで)
2. 平成5年度の所得申告をしていない方は税務課で申告をしてから保険手帳の切り替えをして下さい。収入のなかった方についても申告が必要です。
3. 国民健康保険と職場の健康保険の両方に加入している方がおりましたら職場の保険手帳ももってきて下さい。
4. 国民健康保険に加入している方で、既に転出や転居(住所変更)している方がおられる場合には国民健康保険の窓口にて届出をして下さい。

3月15日(月)	幸地、幸地ハイツ、幸地高層住宅、棚原
3月16日(火)	徳佐田、森川、千原、上原、坂田
3月17日(水)	翁長、呉屋、津花波、西原団地、小橋川、内間
3月18日(木)	内間団地、掛保久、嘉手苅、小那覇
3月19日(金)	平園、兼久、与那城
3月22日(月)	美咲、我謝
3月23日(火)	西原ハイツ、安室、桃原、池田
3月24日(水)	小波津、小波津団地、西原団地

西原町役場 国民健康保険課 ☎945-4729

※ 国民健康保険税の納付相談も行ないますのでお気軽に相談して下さい。

お知らせ
でーびる



申告・募集

NHK学園の通信講座で 学習を!

NHK 学園では、春期の生涯学習講座受講生を募集しています。

●申込受付

2月1日～4月30日

※詳しくは

☎(0425)72-3151(代表)へ

お済みですか「確定申告」!! 所得税の申告と納税は3月15日まで

平成4年分の所得税の申告と納税はもうお済みでしょうか。申告も納税も期限は3月15日です。必ず期限内に済ませてください。

また、個人事業者の消費税の申告と納税の期限は3月31日です。お間違いのないようご注意ください。

なお、所得税の確定申告及び還付申告は役場でも受け付けております。



町県民税、固定資産税、軽自動車税 未納の方は、早めに納めましょう

平成 5 年 3 月 1 日

関係各位

西原町長 平安恒政

**平成 5 年度の固定資産税に係る固定
資産課税台帳の縦覧について(公示)**

標記の件について地方税法第 415 条の規定
により下記のとおり公示します。

記

1. 場所/西原町役場 税務課

1. 期間/平成 5 年 3 月 1 日~平成 5 年 3 月 22 日迄

1. 時間/平 日:午前 8 時 30 分~午後 5 時迄

土曜日:午前 8 時 30 分~午後 0 時 30 分迄

但し、3 月 13 日(土)を除く

☆詳しくは、町役場税務課へ

☎945-4729

水道検針のお知らせが変わります

水道事業にご協力いただき感謝申し上げます。

水道の検針お知らせは、これまで検針指示数および使用水量を、
所定の場所に貼られた量水器検針お知らせ表に記入しお知らせし
ておりましたが、今後は、お知らせ表がポスト等に投入されるよ
うになります。

新しいお知らせ表は、これまでの検針お知らせ表より項目が増
え、検針指示数、使用水量、当月の水道料金、前 3 ヶ月平均使用
水量が、検針と同時に知ることができます。当月に検針された水
道使用料金は、翌月支払になりますので事前に水道料金を知るこ
ととなり便利になります。

なお、当制度の導入は、今年 4 月以降ではありますが、3 月分
から試験的に実施されます。3 月分については、従前の検針お知
らせ表についても同様に記入されますが、4 月以降は新しい検針
お知らせ表のみの通知になります。

皆様のご協力をお願い申し上げます。



☆詳しくは、町水道課へ

☎945-4934

西原町農業地域整備計画の一部変更について

昭和 57 年 3 月 29 日付で定めた農業振興地域整備計画を変更す
るので、農業振興地域の整備に関する法律(昭和 44 年法律第 58 号)
第 13 条第 3 項において準用する同法第 11 条第 1 項の規定に基づき、
農用地利用計画の一部変更案を次のとおり一般の縦覧に供する。

記

1. 縦覧期間/自:平成 5 年 2 月 9 日

至:平成 5 年 3 月 11 日

2. 縦覧場所/西原町役場産業課

☆詳しくは、町役場産業課へ

☎945-4540

寄付・香典返し

(ありがとうございました)

▽字小波津六百二十番地、西
原ライオンズクラブ(与那城
博司会長)が、チャリティ芸
能の夕べの収益金として町社
協へ十万円。▽字我謝百五十
番地、新垣マサさんが、八十
五歳の生年祝として町人材育

成会へ五万円、町社協へ五万
円。▽字兼久三百二十五番地
の二、崎原盛之さんが、故養
母カマダさんの香典返しとし
て地域福祉に役立てて下さい
と町へ十万円。

3月(MAR.) 行事・祭事予定

- 3日(水) ○ひなまつり会 15:00 児童館
○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター (10日、17日、24日)
- 5日(金) ○三歳児健診 13:30 社会福祉センター
○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里 (19日)
- 7日(日) ○乳児一般健診 9:00、13:00 町中央公民館
- 10日(水) ○挑戦大会 15:00 児童館
- 12日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館 (26日)
- 13日(土) ○町役場開庁
○教育文化講演会 14:00 町民体育館
- 14日(日) ○第一回町ウォークラリー大会 9:00 西原東小学校
- 17日(水) ○離乳食実習 13:30 町中央公民館
- 18日(木) ○ビデオ会 14:00 児童館 (19日、22日)
○1歳半健診 13:30 町中央公民館
- 21日(日) ○グスク巡り 8:30 町中央公民館
○第一回町バドミントン大会 10:00 町民体育館
- 22日(月) ○町立中学校卒業式
- 23日(火) ○町立小学校卒業式
○めいろ大会 14:00 児童館 (24日まで)
- 25日(木) ○DPT 13:00 町中央公民館
- 26日(金) ○両保育所卒園式
- 27日(土) ○町役場開庁
○映写会 14:00 児童館
○生涯学習振興大会 14:00 町中央公民館

4月(APR.)

- 2日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里 (16日)
- 7日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター (14日、21日、28日)

※ 都合により日程変更することがあります。

平成5年度からは、全日制課程にも導入されます。

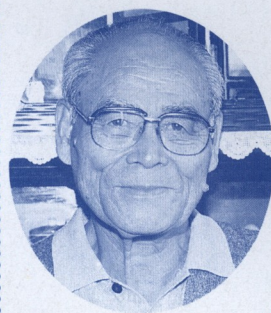
単位制高等学校は、平成四年四月現在で、東京都立新宿山吹高等学校をはじめ、公立で二都道府県に三十一校、私立で四都道府県に五校が設置されています。

単位制高等学校は、学年制のみによる高等学校のこと。昭和六十一年の臨時教育審議会第一次答申などを受けて導入されることになりました。生涯学習の観点から、だれもが容易に高等学校教育を受けられるよう、昭和六十三年度から定時制・通信制課程において制度化されました。

高等学校は、学年制と単位制を併用していますが、実態は学年制に過度に偏っています。しかし、単位制高等学校は、学年による教育課程の区分を取り外し、できるだけ生徒が学びたい科目を自由に選択できるよう、多様な科目を開設しています。

また、学期ごとの入学・卒業ができたり、過去に在学した高等学校で修得した単位を累積計算したりすることもできるようになっています。

単位制高等学校



川上武次さん
字小橋川260番地の2

こんにちは
〃ひとこと〃

16

六十七歳で国家試験にパス

六十七歳の時、宅地建物取引主任者の免許を取得した川上さんは現在七十四歳。三冊の本を中心に独学で勉強し一回でパスしたという。「当時、不動産会社の経理・経営指導をやっていたが、自分も免許を取ってみようと思い挑戦した」と語る川上さん。また、

台湾(戦前)や宮古農林高等学校で教鞭を執り、沖縄県鮪漁業協同組合初代組合長(昭和四十六年)や芳澤法律事務所事務局など職歴も多種。若い時から物事に熱中するタイプだったという川上さんは「次は漢字の勉強をしたい」と話していました。

県政モニターの募集について

申し込みと問い合わせ先

〒900 那覇市泉崎1-2-2

沖縄県総務部知事公室広報課
(広聴係)

電話 098(866) 2020